

2023.7.1-2023.12.20

# 紙内田ビル

Kami - Uchida Bldg.

for now



produced by 富士山まちづくり株式会社 / 勝丸山建築計画

まちなかの空きビルで “とりあえず” はじめてみる



静岡県富士市の中心市街地・吉原商店街にある空きビルのひとつ、「紙内田ビル」。  
\_for now では、このような場所を大切なまちの資源ととらえ、オーナーの協力のもとトライアルメンバー（長期出店者）とポップアップ出店者（短期）によるお試し出店等の場として約6ヶ月間開放しました。  
ここでは意欲的に新たな取り組みを「とりあえず」始める人や活動の種が集まり、新しい仲間と出会いながら次の道へ花開いていく中間地点としてさまざまな出来事が巻き起こりました。  
約6ヶ月の過程と成果をご覧ください。



まちなか物件オーナーの方へ	まちなかへの出店・開業希望の方へ
<p>どんな物件にも可能性はあります！まずはご相談を 空き店舗活用でお困りのオーナー様は、下記窓口へ情報をお寄せください。関係機関と情報共有し、物件情報を求める出店・開業希望者にご案内するほか、まちづくり会社等の専門家を紹介することも可能です。</p>	<p>活動の種を花開かせよう！ まちなかの物件を活用した出店や開業に興味のある方は下記までお問い合わせください。今後、市として実施する各種事業をご案内いたします。</p>
お問い合わせ	お問い合わせ
<p>富士市役所 電話 0545-55-2907 (平日 8:30~17:15) 商業労政課 メール sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp</p>	<p>fuji_for now Instagram @fuji_fornow</p>

※まちなか：中心市街地に規定された吉原地区、富士駅周辺地区



## トライアルメンバー対談

### \_for nowのこれまで ▶▶▶その後に向けて



「紙内田ビル\_for now」に一般公募を経て集まった6組の for now トライアルメンバーは、業種・活動内容・活動時間もバラバラ。しかし良い刺激をシェア仲間として交流し合い、影響を受けながらそれぞれの活動の

しかたに変化も生まれたようです。入居期間も残すところ1ヶ月あまりを迎えたタイミングで、2名1組でこれまでに起こった出来事を振り返りながら今後の展望についてお話ししていただきました。

## 活動を見極めるために街を知ることができた

Badass Beer Base  
宮脇浩樹 @badassbeerbase



お茶の日望月  
望月希美 @monteamono



望月希美 (以下 OM)：「for now」ではお茶に関する講座を中心に活動する予定でしたが、この空間や立地に合う活動の方法を考えてドリンク提供中心の活動へ移行しました。それまであまり意識してなかったのですが、杯数を追求するよりじっくりお客さんと向き合うようなドリンク提供はもちろんです。やはり講座メインの活動をしていきたい。実際にお店を持つとしたら路面よりは裏通りなどひっそりした場所の方が合いそうだな……など、そんなことを考えながら過ごしていました。

宮脇浩樹 (以下 BBB)：僕は普段は全国の醸造所に出向き自社・他社のビール作りを手掛けているので出張が多く、週末を基本に活動していました。ガラス張りの路に面した建物って、人の流れが実感しやすいですね。  
OM：時間帯によって人の雰囲気も変わるし、些細な変化がある面白い街ですね。秋に静岡県内外の庭師らと協働して、紙内田ビルの向かいにある立体駐車場の屋上で期間限定の庭をオープンしました。ここでもドリンク提供するなど「for now」で拠点を持つことによってさらに実験できたことがありました。この期間中、今後自分が注力していきたい活動内容や方

向性を改めて固められた気がします。  
BBB：ありがたいことに、ここにいる間に吉原商店街での開業も決まったので、ちょうど良い時期に街を知ることができました。自分の活動を広げ、富士市のビール文化にどう関わるかを考えるきっかけにもなりました。  
OM：他のトライアルメンバーと会話が弾んだ私のお客さんがいたり、逆に他の方のお客さんと私が仕事することになったり……自分ひとりで出店するだけではありえなかったです。  
BBB：「ひとりじゃない」という気持ちで活動できるのは良かったです。僕自身のビール作りでも色んな異業種の方を巻き込むかたちが一番面白いと思うので、それにも通じるものがありました。

## ゆるやかに変化した出店当初のもくろみ

Lam Data  
渡邊健吾 @lamdata9984



吉原中央  
カルチャーセンター @yccc\_fuji

渡邊健吾 (以下 LD)：普段は法人向けにリモートで PC メンテナンスや IT コンサル業務を行っているのですが、業務拡大も兼ねて、U ターンした地元で対面型・個人向けのサービスも展開したいと思い応募しました。  
吉原中央カルチャーセンター (以下 YCCC)：この前うちに眠っていた 90 年代のラジカセを修理してもらったら「ずっと使えないと思ってた昔の機械が復活した！」ってすごく感動しました。Lam Data さんは自家所有の 3D プリンタを持ってきたり、90 年代のパソコンを持ってきて YouTube を流したり (笑) 本業以外の個性が出て魅力。人柄が見えてくるのも個人対面型サービスの良さですね。

LD：本当ですか。正直、PC 修理といえば大型量販店でやるものというイメージもありますが、致命的に故障してからでないとなて、U ターンした地元で対面型・個人向けのサービスも展開したいと思い応募しました。  
YCCC：私たちが最初は「富士に減らないアートブックや zine を紹介できる閲覧場所があれば」くらいの気持ちで始めました。そしたら思いのほか商店街の皆さんが「うちにある面白いから持って行って」と寄贈してくれて。後半では品揃えが僅かです



がアートブックの仕入れ販売も行い、ニッチでも発信すればちゃんと手にする人がいるという手応えもありました。  
LD：このあたりは活動を気にかけてくれる親身になってくれる店主さんも多いですね。僕も「for now」に参加したおかげで、対面相談されるお客様が増え、皆さんのパソコンに対するお悩みが少しずつ見えてきました。今後は、法人向けサポートも続けながら、富士市を中心として「地域の皆さんの小さなお悩みにも親身になれるパソコンショップ」として活動を続けていきたいと思っています。

## アート・表現をかたちづかった人とのつながり

あんいっぴいロッピーアウさこ  
@lap\_ared\_ennui



masuo  
@\_masuo\_



あんいっぴいロッピーアウさこ (以下 AU)：最初は「とにかく何かやりたい！」と思って応募しました。インスタで偶然告知を目にして、とりあえず何か動こうって。  
masuo (以下 M)：私はアーティスト活動を本格化させるため、10月で会社を退職することが決まっていたので参加しました。他のメンバーより少し遅れて8月から出入りするようになったのですが、ここにいることで自分の存在が知られて、「何か一緒にやろう」と声をかけてくれる方がたくさんいて、色々な作品を作ることができました。与えられた機会を利用して早々に大型作品を作れたのもありがたかったです。おかげで免疫がつかえました！

AU：私も家で作業してたら絶対にこんな空間でなかったし、場所を汚すことを気にせずこれだけ自由に使わせてもらうのはよかったです。途中で「ピンクといえようささん」ってピンクの板をもらって、それが壁になることで自分らしい空間を作ることができました。  
M：近隣店舗の看板制作、ポップアップ出店者との共同制作、YCCCからのデザイン制作の依頼……いろんな人とコラボレーションしたかったので、やりたいことができるなあと嬉しかったです。今後は作品制作と、依頼を受けての仕事どちらも手がけたいので、活動の仕方考えるうえで練習や整理ができた気がします。

AU：「for now」で得られたものは予想外にたくさんあって、普段だったら会うチャンスのない色んな人の考え方に触れられて視野が広がりました。「ぬるま湯にいる場合じゃない」と向上心も生まれて成長できたし、人間関係がそうさせてくれたのかになって。私の作品は人生経験で日々実感できることから生まれてくるので、ドラクエで例えるなら「はじまりの村」みたいな (笑) いい場所で活動させてもらえました。





# 紙内田ビル\_for now これまでのあゆみ



リピート率〇%！

## ポップアップ出店者の声

- <凡例>①普段の活動  
②ポップアップ利用のきっかけ  
③リピートする理由

「紙内田ビル\_for now」スペース内で最短1日～最長1ヶ月まで自由に来店いただける「ポップアップ」枠。物販・飲食などのサービス提供以外にもさまざまなクリエイティブな取り組みが行われました。複数回来店いただいた方を中心に、リピートに際しての思いを伺いました。

USED Tシャツやスニーカー、CD、雑貨の販売  
小田切茂明 @shige1933



5回利用

①2023年1月に山梨から富士へ移住し、平日は製紙会社に勤めています。②初めて吉原商店街を訪れた時の印象が良く、それ以来度々通うようになり、ここで何かやってみようという気持ちになりました。なかなか踏み出せないでいた時に「\_for now」を知り「とりあえず」一歩踏み出してみようと思い出店しました。③吉原という街で色々な方と交流を深め「こんな事やってる人があるんだな」と知ってもらいたい気持ちが大きいです。トライアルメンバーの皆さんの中に混じり、リピートする事によって得るもの、経験として残るものがあると思いいリピートしています。

ハンドトリートメント・ネイル・アクセサリ販売  
space sola 若月美紗子 @space.sola



3回利用

①コーチング、ハンドトリートメント、ネイル、アクセサリ制作など②2023年3月に東京から富士市に引越し、自由に活動できる場所を探していました。「\_for now」は富士市のウェブサイト、出入りしていたコワーキングスペースに置かれたチラシを見て興味を持ちました。「for now = とりあえず」というワードに後押しされ、利用しました。③「\_for now」に出入りする皆さんと共に過ごす時間やコミュニケーションが心地よく感じてリピートしました。

活版印刷ワークショップ/オリジナルシール作り  
egocoro design 牧田美菜子 @egocoro\_design



4回利用

①シール印刷会社のデザイナー/個人事業としてデザイナー活動もしており、各種印刷物の発行やノベルティ作成、イベントでは主に活版印刷のワークショップを行なっています。②以前活動を共にした方々がトライアルメンバーとして参加している事がきっかけです。仲間の頑張る姿を間近で見て背中を押してもらった作戦です。③「\_for now」メンバーの優しさと居心地の良さです。「今回はオープンデー一緒にやろうよ！」と皆さんからお声がけいただいた事と、メンバー全員が一丸となって企画を盛り上げようとしている姿勢が素敵だな、と。

サックス演奏体験/ライブ開催  
川島麻友美 @maumchan223



2回利用

①サックス奏者、サックス講師（時々飲食店スタッフ）②地元・吉原での活動に力を入れる中で「\_for now」が始まり、トライアルメンバーに知り合いがいた事もあり関わりたいと思いました。通りがかりの方にも「何かやってる」と思わせるような会場の雰囲気や立地も魅力でした。③半年間で「\_for now」がどんどんパワフルになってくを見てきたので、終わってしまう直前に「ありがとう！」という気持ちでリピートしました。他のポップアップ出店者さんと偶然別の場所でお会いした時に、日を合わせて出店することになったのもきっかけです。

## 運営チームが語る \_for nowのキーワード ×3

沼津市で2か年にわたり開催された「for now」が、満を持して富士市で開催された初年度。長いようであっという間の6ヶ月間を振り返り、「for now」像を紐解く3つのキーワードを運営チームが考察します。

運営チームメンバー

鈴木大介  
富士山まちづくり株式会社 執行役員



1987年富士生まれ。まちづくり現場主義の仕掛け人。コンサル会社での営業を経て富士市にUターン。2016年より現職。「紙内田ビル\_for now」ではコーディネートを担当。吉原商店街の「14GuesthouseMt.Fuji」(2020年-)唐揚げ十四番(2021年-)オーナーでもあり、街のプレイヤーとしても活動。

勝亦 優祐  
勝亦丸山建築計画 代表取締役



工学院大学大学院修了後、日建設計に勤務。2013年に静岡県富士市の吉原商店街の立体駐車場からせん型アートフェス「商店街占拠」を立ち上げる。2015年には麻壇ビルを「マライチビル」としてリノベーション。2017年より東京都内にクリエイターのためのシェアハウス4拠点を立ち上げ、現在は静岡と東京をメインに、建築、インテリア、家具のデザイン、都市リサーチ、空き家・ビルなどを活用した建築企画を行う。

## 寛容性

うまくいくことは必ずではない状況でもよくなる可能性がある

### 手探りがあるから前に進める

「紙内田ビル\_for now」が開始した当初は、6組のトライアルメンバー全員が「この場所をどう使おうか?！」と大きく戸惑っていました。あてもないこうでもないと日々レイアウトや装飾に試行錯誤を繰り返す人、そのまま様子をじっくり観察する人、ブースエリアを拡大したり移動したり……実に多くの手探りがなされ、「この場所をどうすればいいか」を全員が考え、悩みながらもそれぞれなりに手を動かしていました。徐々にメンバー間の認識も擦り合わさっていき、それまでのお客さんの導線観察なども功を奏して8月にはレイアウトを大幅にリニューアル。以降、そのレイアウトを基調にポップアップ利用者の出店やオープンデーなど催しごとにアップデートを繰り返していきました。

## 交流

偶然の中で必然的に繋がる出会い+文殊の知恵=事業拡大のきっかけ

### 混ざり合いながら街と関係を深める

過去に沼津市で for now を実施した際は、同一物件内の複数階を使用していた開催となりました。出店者がそれぞれの持ち場を作りやすいメリットがある反面、「区切られてる」印象は否めませんでした。これに対し「紙内田ビル\_for now」は、街を行き交う方々からも見えやすい路面店で実施しており、参加者全員が同一平面上でより混ざり合うかたちで展開されました。また、初の試みとしてポップアップ利用者の常時募集も実施。複数回にわたるリピーターも登場し、それまで接点なかった参加者同士の for now 以外での交流も生まれ、同時出店の企画が自主的に立ち上がったほど。トライアルメンバー間にも同様に、コラボ企画や商品開発などが自然発生。近隣店舗との協働や関わりもみられ、個々の出店ではあり得なかった街と接続していく状況が生まれました。

### 「商業的」の外側にチャンスがある

トライアルメンバー・ポップアップ利用者の中には、たとえばサックス奏者による体験レッスンとライブ演奏、アーティストの作品展示、トークショー、ギターの弾き語りや16ミリフィルムの無料上映など、いわゆる「商業的なサービス」を提供することを超えて事業者の世界観を「出店」をとおし表現する方も多くいました。表現することには、需要と供給の関係や貨幣経済だけでは測れない物事も多く含まれます。創意工夫にあふれた活動のエネルギーが、これからの時代に求心力ある「街の活性化」のきっかけを作るために不可欠であると言えます。また、近隣店舗の店主さんが差し入れをしたり、ソファエリアでゆったりくつろぐ方がいたり、出店者や近隣店舗の方同士の間で他愛のない会話からはからず真剣な「企画会議」になったり……公園やラウンジのように開かれた憩いの場があることで、街のつながりや一種の公共性が感じられる場面も多くありました。

## 人口減少時代のまちづくりにふさわしいポテンシャル

富士市は平成29年度から継続的にさまざまな形で空き店舗等活用促進事業を行ってまいりました。商店街と起業家を支援する事業「まちなか Labo」(平成30年度～令和4年度)と比較しても、「for now」はお試し出店の期間が長く、本格出店に繋げる機会を創出する事業となっています。参加者の業態も飲食や物販等が多かった「まちなか Labo」に対して、「for now」に集まる業態の幅広さはユニークですね。異業種の方々が集まるトライアルメンバーとポップアップ出店者が交流することで、一人で出店するよりも多くの気づきや学びがあり、イノベーションが起き

富士市役所 産業交流部長  
養木 真一



たと思われ、事業終了後の活動にもつながる可能性を感じました。紙内田ビル以外の場所での活動も多くあったようで、「まちへのはみだし」も大きな成果だったのではないかと思います。人口増加時代は、新しい施設等を「作って増やす」が主流でしたが、将来的には富士市の人口も20万人を割ると言われている現在、既存のストックを活かし、守りながらまちづくりに携わる考え方が必要です。「for now」はまさにこういった時代にふさわしい、「お試し出店」以上のポテンシャルを秘めた取り組みと言えます。

## にぎわっていた街を知らない若者だからできること

「紙内田ビル」オーナー  
内田寛さん

紙内田ビルは1964年にできた地上3階建の共同ビルです。当時は吉原商店街以外にも、全国的にこういった鉄筋コンクリート造の共同ビルが国の政策として次々に建設される動きがありました。先進的な建物として全国各地から大勢の方が視察にいらしていました。昔は「五内田」と言って、吉原に「醤油内田・米内田・油内田・糸内田」そこから分家した「紙内田」がありました。江戸時代の天保年間(1830~40年代)に荒物屋(雑貨屋)として創業し、明治期に紙問屋への転向を経て、戦後に文具・印刷も取り扱う文具屋になりました。私が7代目店主を務め、2017年に約180年の歴史に幕を下ろしました。

私たちのように、高度経済成長でにぎわっていた街を知る世代からすると、「あの頃を知らない若い世代はかわいそう」なんて悲観的な見方もありますが、知らないからこそ面白いアイデアで使ってくれる人がいるのではないのでしょうか。商店街に新しい人が入ってきやすくなるようにと思い「for now」に旧「紙内田」を提供させてもらうことになりました。良い借り手に街に入ってくる状況を作るのがオーナーの大事な役割だと思います。今までにない新しい発想で、若い人たちが前向きな気持ちで古い空きビルを使うきっかけになれば嬉しいです。



「紙内田ビル\_for now」富士市商業労政課「空き店舗等活用促進事業」

所 在：静岡県富士市吉原2-9-241階(旧(株)紙内田)  
運 営：富士山まちづくり株式会社  
プロデュース：勝亦優祐(勝亦丸山建築計画)  
運営協力：福井裕貴  
編 集：たきせあやえ  
(「紙内田ビル\_for now」コミュニティ・オーガナイザー)  
デザイン：鈴木健太  
写 真：スズキトオル  
(「ポップアップ出店者の声」これまでのあゆみ)を除く)  
発 行：富士山まちづくり株式会社